
赤が好き

楓

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

赤が好き

【Nコード】

N4053N

【作者名】

楓

【あらすじ】

レイチエルは自分の母親のために母親を殺した。

レイチエルは自分の母親のために父親を殺した。

たった一人の子供が、大の大人を二人も殺した。

その真実は変えられず、レイチエルは旅に出る・・・

「赤が好きなの」

レイチェルは言った。誰かが質問した。

「どうして赤が好きなの？」

レイチェルは答えた。

「だって、赤だもん」

答えになっていない、と誰かは思った。

赤はレイチェルの大好きな色だった。どうしてかと聞かれても、

レイチェルはただ

「赤だから」

と答えた。

レイチェルの母親は9歳のときに他界し、現在は叔母と暮らしていた。叔母は彼女をよく思っていない。なぜなら、レイチェルが人殺しだったから。レイチェルは、叔母の姉、つまりレイチェルの母親ミサーナを直接殺したわけではないが、手術をすれば治るかもしれないという微かな希望を潰した張本人。手術当日にレイチェルは母親の病室に忍び込み、母親の血を全て抜き出し母親の服を赤に染めた。もちろん、母親は死んだ。しかし母親は死ぬ直前、彼女にこう言った。

「あなたも赤が好き？ 私も大好き……」

レイチェルに罪悪感など一切なかった。自分は母にいい事をしてあげたのだから。母の大好きな赤色に染めてあげたのだから。

レイチェルの父親も彼女が9歳のときに他界した。レイチェルが殺したから。レイチェルにとって父親はどうでもいい存在だった。誕生日がきても仕事が忙しいと理由をつくり、母親以外の人と交際していたことをレイチェルは知っていた。自分が大好きな母親をだましてまで付き合いたい人なのか、そう父親に尋ねたら

「お前には関係ないことだろう。それよりも母さんには黙っているよ。もし喋ったら……」

そう言われた。冷たい言葉だった。だから彼女は父親を殺した。自分とはともかく、母親まで見放す父親なんかいらなそうと思ったからだ。レイチエルは旅に出た。この世に飽きたから、そう叔母に言い残し家を出て行った。10歳だった。叔母は喜んだ。この世で一番邪魔だと思っていた人間がいなくなったのだから。

レイチエルはその後、叔母の家から遠く離れた誰かの家に住み着くこととなった……

（後書き）

鍛錬投稿室にも投稿したものです。文が読みにくかったらごめんなさい・・・

この続きの話もあるんですが、それが2話という形では（自分的には）ないので

また別の作品として、いつかここに載せます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4053n/>

赤が好き

2010年12月9日14時00分発行